

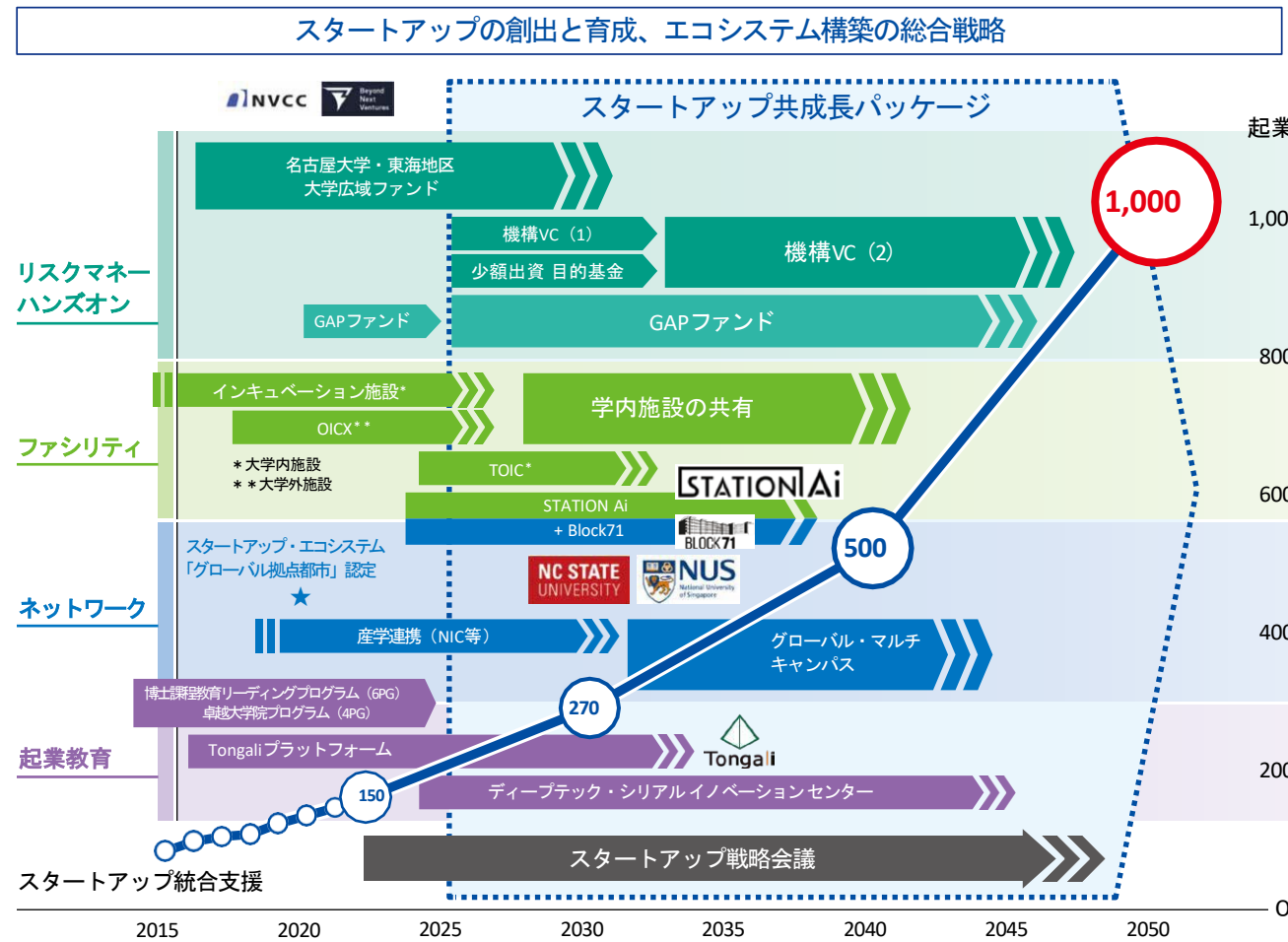
スタートアップ育成とイノベーション加速に 貢献するスタートアップ戦略会議

東海機構では、スタートアップ創出と育成、スタートアップ・エコシステム構築を総合的に推進するためのスタートアップ戦略会議を立ち上げ、教育から起業支援、施設の共有、ファン ドやVCなどの設立・運用などを立体的に展開していきます。

スタートアップの創出と育成は総合事業です。学内における 正課のアントレプレナーシップ教育や東海地区の大学コンソー シアムによる教育と起業家育成プログラムを展開するTongali* との連 携、東海機構、地域の他大学、自治体、産業界、金融界な どのネッ トワーク構築、スタートアップ・エコシステム構築を支 えるプラット フォームづくりなどを総合的に推進していきます。また、名古屋は 日本で唯一、シンガポール国立大学（NUS）が

展開するインキュベーション教育「NOC (The NUS Overseas Colleges) プログラム」の拠点都市となっています。名古屋大学は 「NOCプログラム」を世界各国で展開するシンガポール国立大 学や、愛知県が設立する日本最大のスタートアップ拠点 「STATION Ai」 との連携を強力に推進しています。岐阜大学で は、ぎふスタートアップ支援コンソーシアムにも参加し、地域社 会にお けるスタートアップ・エコシステム構築に貢献しています。

* Tongali : Tokai Network for Global Leading Innovators 東海地区国立5大学による東海地区産学連携大学コンソーシアム



- 第0期（～現在）**
アントレプレナーシップ教育を土台とした起業前支援により、学生発ベンチャーを含め着実に大学発スタートアップを創出
- 第Ⅰ期（2025～2030）**
起業後支援も含めたシームレスなスタートアップエコシステムの構築
- 第Ⅱ期（2031～2040）**
スタートアップエコシステムの国際展開の加速
- 第Ⅲ期（2041～2050）**
第Ⅰ期、Ⅱ期の集大成としての、次世代科学への投資につなげる資金循環の確立

東海機構VC

スタートアップ支援をシームレスに行うには、リスクマネーの供給が極めて重要です。従来、機構としては、起業前支援を中心に、起業後の資金供給については、民間VCのお力添えをいただく形で実施し、多くの大学発スタートアップを創出、支援してまいりました。今後はより機構がコミットする形でVCを設立し、リスクマネーを供給することで、スタートアップ支援を加速させていく予定です。それと同時に起業後支援のノウハウを機構に蓄積させ、サステナブルなスタートアップ・エコシステムを構築していきます。



環境整備

東海機構の有する最先端研究設備、オフィススペースなどの施設設備やサービスを提供し、創業前後のスタートアップを支援します。具体的には、インキュベーション施設やOICX※1、今後新設予定のTOIC※2、STATION Ai※3など東海機構内外の拠点と連携した取り組みを推進するとともに、利益相反の管理、価値の共有に資する仕組みづくりにも取り組み、東海機構の知的・技術・人的資産と地域や産業界とのネットワークを活かして、グローバルな社会課題に取り組むスタートアップの成長支援を推進していきます。

※1 名古屋大学オープンイノベーション拠点
 ※2 Tokai Open Innovation Complex : 岐阜サイト2024年3月開設予定、名古屋サイト2024年5月開設予定
 ※3 日本最大のスタートアップ支援拠点 : 2024年10月開業予定



地域連携

東海地域で革新的なスタートアップ企業の創出と育成を促進するには、地域企業、自治体、投資会社との連携が不可欠です。名古屋大学は愛知県との連携を中心に、岐阜大学は「ぎふスタートアップ支援コンソーシアム」への参加を通じて、産学官金連携のプラットフォームの構築を推進します。また、ベンチャーキャピタルやCVC（コーポレート・ベンチャー・キャピタル）との連携による資金支援体制も今後強化していきます。新たな産業の育成に向けて、東海機構は地域社会と連携し、スタートアップ・エコシステムの構築を実現していきます。



グローバル連携

名古屋大学では、戦略的パートナー大学（SPU）の一つとして、シンガポール国立大学（NUS）との連携強化に取り組んでいます。NUSはスタートアップへの取り組みも進んでおり、愛知県が設立する日本最大のスタートアップ拠点「STATION Ai」への展開、NOC (The NUS Overseas Colleges) プログラムの名古屋への展開とも連携しながら、名古屋大学発スタートアップの推進にグローバルな側面から協力すべく取り組んでいます。また、このような活動を通して学生発ベンチャーの海外展開も応援すべく、他のSPUとの連携も含め、さらなる取り組み強化を図ってまいります。



アントレプレナーシップ教育

課題を発見し、それを他と協調しながら解決する力は、研究者志望者にとどまらず、これから社会に出る学生全員が身につけるべき特に重要な要素です。名古屋大学ではチャレンジ精神や創造性、協調力、リーダーシップ能力などの育成をアントレプレナーシップ教育と位置づけ、2023年4月に発足したディープテック・シリアルイノベーションセンターを中心に、全学規模で実施し始めています。学士課程から大学院博士前期・後期課程にわたり、講義、実習、インターンシップと体系的な教育を行っています。また、より実践的なワークショップやアイデアピッチコンテストなど、個人やグループが持つアイデアを起業に結びつけるさまざまな取り組みを、他大学も参加する形でTongaliプログラムとして用意しています。

